



## 第1分科会

# 子育て、教育を語る

乳幼児期から思春期まで

助言者 甲田 由香 (新座市学童保育の会)  
渡辺真由美 (小学校教員)  
久米 宏樹 (中学校教員)

司会 斎藤 史裕

記録 瀬藤亜由子 佐々木直子

### 自己紹介とひとこと

#### ●参加者から

##### 小一保護者

4月から転校 道徳が教科化されるのが心配。教科書展示会に行って教科書を実際に見たが良い子、元気な子ばかりがクローズアップされがちで疑問。教科書カフェを開催したが、参加者からたくさんの悩みがでた。

##### 保護者

息子が反抗期。子どもたちが遊ぶものがゲームなどすべてメディアという部分に疑問。検索履歴も過激なものが目立つ。

##### 女性団体所属

メンバーに若い人いなく、若い人の声を聞く機会が無いので参加。

##### 元教員

小中に読み聞かせに行っているが、先生と一緒に聞く余裕がないのか〇付けをしている。宿題だけをする会を開催しているが、量が多く親がノイローゼ気味のようなのだ。

#### 読みきかせボランティア

多数の小中で読みきかせに参加している。無料できてくれているのだから聴きなさいという先生の指導に驚く。

#### 保護者

教育にぬくもりを感じない。小学校はテストの評価で成績が決まり、中学校では提出物は零点など、努力でなく成果で評価が決まることに違和感。生活に関する評価を感じない。SNSの普及にも疑問を感じている。

#### 一般

自分の子供の時代と違いを感じている。将来に向けて子育ての話を知りたい。

#### 元教員

今の子供たちに人と関わること、自然と関わることを大事にしてほしい。

#### 性と子育てを考える会所属

思春期は小3から、思春期の子どもたちと向き合うために会を立ち上げた。

#### 現教員

4才と6才の孫がいるが、母親（娘）が追い詰められているように思える。

#### 保護者

中3の子供が学校に行けなくなった。1年の時にいじめにあったのがきっかけ。1学期は頑張ってたが、2学期で行けなくなった。

### ●助言者から

#### 渡辺さん

- \* 子供は一人ひとり違うもの。担任を含め、たまたま出会った人たちと過ごすのが学校。勉強だけではない。異質なものに対してどう向き合うか等を学びたい。しかし今はできていない。
- \* 教員が多忙で放課後に子供と向き合えない。
- \* 集団でいるはずなのに国からの学習指導は1対1の発問。
- \* テストばかりの指導で、苦しいのは勉強について行けない子。子供は楽しくない。
- \* 宿題も増えてきたため、子供の放課後も奪われている。放課後に遊べないため、人間関係も構築できずスマホに行ってしまう。
- \* どうして学校に行くのか？→明日明日と変わっていく喜びがあったはずなのにそれも減ってしまった。
- \* 校長も、学校現場も悩んでいる。

#### 久米さん

- \* (中学校) 昔、評定は中間・期末テストで成績表をつけていた。  
現在は 意欲関心態度も入る。  
教師は成績表をつける負担が5倍は増えた。国の方針には逆らえない。
- \* 学校のなかで当然いじめはある。それを受けとめるチャンスと考える。  
学校には自治性を求めたい、その中のいじめは教員がつけたい。中1でいじめが増える、中2で収まるが深くなり隠れる。中3で乗り越えられなかったときに不登校などになる傾向がある。
- \* SNSでもトラブルが見えないので難しい。他の生徒の報告でできることもある。
- \* 来年度から道徳が教科化されるが必要性は？ (すでにやっている)  
いじめが悪いのは子供もわかっている。

#### 甲田さん

- \*学校にSNS教室が来る。PTAで呼んではどうか？そのためにPTAに入ることを薦める。
- \*いじめの問題では大人もLINEなど使ってネットワークを広げてみては？大人も仲間作りをしてほしい。
- \*子供もやることが多い。大人もゆるくなってみては？
- \*YOUTUBEも禁止するのではなく、うまく活用して取り込んでみていいと思う。
- \*指導法など疑問に思えたときは親から先生に疑問を呈していい。仲間を見つけていろいろ言うのは有効では？

